

「自立活動」（うんどう）学習指導案

1. 日時 平成30年10月10日（水） 第2時限（10：00～10：45）

2. 場所 小学部 中央ホール

3. 学部・学年・組 小学部 第2学年 4名

4. 単元（題材）名 「みんなで身体を動かそう！」

5. 単元（題材）目標

- ・ボールを楽しむ中で徐々に身体力を抜いたり身体を動かしたりする。
- ・箱を倒す中で少し自ら動かしたり、教員と一緒に倒すことを意識したりする。

6. 児童観 【略】

7. 教材観

本授業では、減圧をしたバランスボールであるファシリテーションボールと、高く積み上げた箱を倒す箱倒しを教材として使用し授業を展開する。ファシリテーションボールは、バランスボールを減圧することでボールと身体の接地面が大きくなり児童が安心して身体をまかせリラックスしやすい。また、乗っている時に身体を動かすとボールの動きの増幅作用により小さな動きでも大きな揺れと感ずることができるので、児童が身体を動かした時にフィードバックを受けやすくボディーイメージを高めるために効果的である。箱倒しは高く積み上げた箱を倒す活動であるが、高く積むことで倒れたことが視覚的にわかりやすく、倒れた時に大きな音も鳴るので聴覚的にもわかりやすい教材である。また、箱の積み方を変えたり置く場所を変えたりすることで個々に対応して箱倒しを行うことができる。

8. 指導観

うんどうの時間は、年間を通し『教師と一緒に身体を動かす』『身体を自分で動かそうとする』『ボディーイメージを高める』ことを目標に活動に取り組んでいる。そのため現在、授業はファシリテーションボールや箱倒しなどの活動を通して教師と一緒に体を動かしたり自ら身体を動かしたりしながら、一人ひとりボディーイメージを高めていくことを念頭に置きながら授業を進めていきたい。

授業全体を通しては、授業の流れが明確にわかるように提示のしかたを明確にすると共に活動の区切りがわかりやすいように意識していく。また、どの活動も児童の自らの動きを引き出すために個々の児童に合わせてじっくり待ったり介助を行ったりする。その中で導入では、年間を通し取り組んでいる『しあわせならてをたたこう』の手遊び歌に合わせた準備運動を行う。うんどうの時間が始まったことを楽しく意識付けし、意欲的に活動ができるようにする。また児童が興味関心を持ち、より意欲的に学習に参加できるように、ファシリテーションボールでリラックスする時にはゆったりした曲、はずむときにはテンポのいい曲などBGMに変化をつけるなど雰囲気作りを工夫し活動に取り組みたい。また児童同士がお互いに意識できるようにマットを配置する場所や待機する位置にも配慮して、友だちの様子を見たり友だちを応援したりするなどして集団づくりも行うことができるよう意識し授業を進めていく。本時は、ファシリテーションボールに慣れていくために、まずは乗って身体力を抜くということと、箱倒しにおいて箱や倒す手元を見たりしながら箱を倒すという活動を意識すること

の二つを目標に活動に取り組む。また「児童の実態と本時の目標」で個々に応じた指導の達成目標を示し、授業形態をTTとすることで、他教員と連携を行い個別支援も個々の目標に応じて行っていく。

9. 単元（題材）の評価規準

A 関心・意欲・態度	B 思考・判断・表現	C 技能	D 知識・理解
①箱倒しをする時に、箱の方を見たり倒す時に手元を見たりしている。	①箱を倒す時に、手の位置をかえるなどして倒すために試行錯誤している。	①ファシリテーションボールの上で身体力を抜いている。	①ファシリテーションボールの上で身体を動かすと揺れることを知る。

10. 単元の指導と評価の計画（全5時間、本時は第2時）

次	時	学習内容	評価規準			
			A 関心・意欲・態度	B 思考・判断・表現	C 技能	D 知識・理解
第一次	1～2	・ファシリテーションボールにのってみる （あおむけ・うつぶせ・ゆれる） ・箱をたおしてみよう （箱を倒す）	①		①	
第二次	3～5	・ファシリテーションボールにのる （あおむけ・うつぶせ・はずむ） ・箱をたおす （順番を決める・友達を応援する）		①		①

11. 本時の展開

（1）本時の目標

- ・ボールを楽しむ中で身体力を抜く。
- ・箱を倒すことを意識する。

（2）本時の評価規準

- 【C①】ファシリテーションボールの上でリラックスをし、身体力を抜いている。
- 【A①】箱倒しをする時に箱の方を見たり、倒す時に手元を見たりしている。

（3）本時で扱う教材・教具

ファシリテーションボール・箱・CD デッキ・CD・SRC-W・箱いす台車・プロンボード

(4) 児童生徒の実態と本時の目標 【略】

(5) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援の手だて等	評価規準（評価方法）
7分 導 入	1. はじまりのあいさつ(2) ・ 始まりの歌をうたう。 ・ 今日の活動の説明を聞く。 2. 体操「しあわせならてをたたこう」(5) EX) 手を叩こう 足踏みしよう ジャンプしよう 手をブラブラしよう	・ マットの上で活動を始め、一人ひとりにあわせた姿勢で介助座位をとるようにする。 ・ 授業の始まりを意識できるようにする。 ・ 手遊びをしながら、身体を動かすことを意識しながら活動を行うようにする。	
30分 展 開	3. ファシリテーションボール(15) ・ 曲が流れる中で手や足を先生と一緒にゆらし身体をほぐす。 4. 箱倒しをしよう(15) ・ 手本を見る。 ・ 順番を決める。 ・ 一人ずつ箱のところまで進み、箱を倒す。	・ 一人ひとりの様子やその日の体調に合わせてボールや姿勢を選び、安全面に気をつけながら取り組む。 ・ 一人ひとりの課題に合わせて進んでいき、箱を倒せるように介助を行う。 ・ 一人ずつ順番に行い、子どもが取り組んでいる様子を他の子どもが見ることができるように待つ位置や向きに配慮する。 ・ 倒れた箱が児童に当たらないように気をつける。 ・ 手を伸ばしたり手を動かしたり、手元を見たりするなど箱を倒そうと子どもたちが意識することができたらしっかりとその場で褒めるようにする。	【C①】 児童の様子の観察 【A①】 児童の様子の観察
8分 ま と め	5. まとめ(5) 6. おわりのあいさつ(3)	・ 一人ひとりががんばった点を発表するようにし、できたことを褒めるようにする。 ・ 授業の終わりを意識できるようにする。	

(6) 教室配置等 【略】